

# お知らせ

## ◆オンライン懇親会への誘い

コロナウイルス感染症拡大により、周作クラブのイベントは未だ実現の予定がたない状況です。そこで、前号でお伺いした皆様のインターネット環境などを参考に、オンライン懇親会を計画致しました。日頃、お目にかかれたい全国の会員同士の親睦を深める会になればと思います。飲み物と、好きな遠藤周作の一作を持って楽しいひとときを過ごしませんか。

日時 7月3日(土) 14時～16時

参加希望の方は6月19日までにメールで周作クラブ(syusaku\_club@yahoo.co.jp)までお知らせください。ZoomミーティングのURLをお送りします。当日クリックしてご参加ください。

カメラ機能付きPC、タブレット、スマートフォンで参加が可能です。タブレット、スマートフォンの場合は事前に、Zoomアプリをインストールしていただく必要があります。

申し込まれた方には詳しくお知らせ致しますし、ご不安な方には前もって練習の機会を設ける予定です。多くの方のご参加をお待ちしております。

## ◆今年度「周作忌」は9月25日(土)オンラインでも参加できます

昨年はコロナウイルスの感染拡大防止のため中止となった「周作忌」ですが、今年度は来る9月25日(土)の14時～16時に慶應義塾大学三田校舎内・北館ホールで、会場参加&オンライン方式により行ないます。詳細は次号会報のご案内をお待ちください。

## ◆周作クラブ会員限定

○『遠藤文学大事典』申し込み方法

鼎書房 4月15日刊行  
責任編集 川島秀一・山根道公

遠藤周作の人と文学の全貌を明らかにする、560ページにおよぶ大事典です。「周作クラブ」も項目の一つとして入っています。

周作クラブ会員で御購入を希望の方は、鼎書房へ直接お申込みください。その場合の料金は、定価(10450)の2割引き(8360円)+送料実費となります。お申し込みは、ファクス(☎03・3654・1064)か、Eメール(info@kanee-shobo.com)でお願いいたします。

## ○残部僅少

『遠藤周作全日記1950-1993』上下1巻 2018年に河出書房新社から刊行された『遠藤周作全日記』(上下1巻・箱入り)が、わずかですが在庫があります。フランス留学時代の日記から、最後の書下ろし長篇『深い河』執筆時の創作・病床日記まで、作者の魂の音が余すところなく編纂された日記文学の巨編です。解題・解説は今井真理。周作クラブ会員の方に限り、定価14080円のところ、二割引、送料無料でご提供します。希望者は、河出書房新社編集部 太田美穂まで。m-ota@kawade.co.jp (電話)03・3404・8611 (FAX)03・3404・1377

## ◆遠藤周作没後25年

心を揺る物語とは何か  
講座名「文章で表現する技術」

(7～9月期)

講師 加藤宗哉  
日時 7月9日(金)、7月30日(金)、9月10日(金) (全3回)  
いずれも13時～14時30分  
会場 朝日カルチャーセンター新宿  
受講料 会員10395円  
一般13695円  
申込先 朝日カルチャーセンター新宿  
☎03・33344・1945

東京都新宿区西新宿2の6の1 新宿住友ビル10階。最寄り駅は都営大江戸線「都庁前」駅、もしくはJR「新宿」駅西口。

## ◆「周作クラブ」会員募集

「周作クラブ」では会員を募集しています。遠藤文学ファンはもちろん、これから読んでみようという方々も大歓迎です。年会費は3,000円。入会金はありません。年4回発行の「会報」が送られるほか、会が主催する「文学セミナー」や遠藤作品の足跡を訪ねる「遠藤文学・原点の旅」へ参加できます。新年会、各種懇親会へのご案内もお送りします。下記「周作クラブ」まで、ハガキかEメールでお申込みください。折り返しご案内の資料と会費の振込用紙をお送りします。なお、当クラブでは昨年より財政健全化のための「協力金」をお願いしています。一口1,000円で、何口でも結構です。ご協力いただければ幸いです。

## † 訂正とご案内 †

前号会報の1面「訃報・遠藤順子さん」の記事の中で、ご命日を「1月16日」と記しましたが、正しくは「1月17日」でした。深くお詫びし、慎んで訂正させていただきます。

なお、東京麹町の聖イグナチオ教会での納骨式もすでに終了、墓参が可能となっております。クリプタ(地下の納骨堂)への行き方は受付でお尋ねください。

※カトリック麹町聖イグナチオ教会(千代田区麹町6の5の1)へは、JR、地下鉄とも四ツ谷駅下車、徒歩1分(上智大学手前)。  
☎03・3263・4584 (受付時間9時～19時)

## ◆編集後記◆

▼いつの間にか春も過ぎ去り、はや初夏の趣です。今年の梅雨は早く、すでに梅雨入りをしているところも、少なからずあることと思います。遠藤先生は晴れ男を自認しておりましたが、そういうえば、梅雨時にもあちこち一緒しましたが、雨にたたられた記憶はありません。

▼遠藤先生からよく電話がかかってきました。遊び(旅行)の話で、たまに宇宙棋院や樹座の話でした。言いたいことだけ一方的に仰って、こちらが何か言おうとすると、早くも電話が切られているということが多かった気がします。

▼本号の巻頭、加藤宗哉さんによる、ヴァン・ゲッセル氏のメールの紹介、とても興味深かったですね。ゲッセル氏による『女の一生・サチ子の場合』の英訳本、ぜひ読みたいものです。『女の一生』の「キクの場合」も「サチ子の場合」も僕の大好きな作品です。とはいえ、英文を読解する能力は、残念ながらないので……。

▼ともあれ、コロナが猛威をふるっております。皆様も充分ご注意ください。(颯)

## 「周作クラブ」第83号

2021年5月発行

■発行人 加賀 乙彦  
■編集人 高橋千劍破  
■副編集人 亀岡 園子  
■編集部 一田佳希、大原雄、近藤恭弘、高木香織、清水優子  
■発行所 東京都世田谷区上馬4-29-17  
加藤宗哉事務所内「周作クラブ」  
Eメール Shusaku\_club@yahoo.co.jp